

インドネシアの物流事情

現在世界で第四位の人口数をほこり現在もその数を増やしているインドネシアでは、首都ジャカルタの交通渋滞が物流にも深刻な影響をおよぼしています。近年この渋滞緩和のために様々な対策が打ち立てられていますので、本号にてその一部を紹介いたします。

1. インドネシアの交通渋滞

インドネシアは日本の約5倍の国土に2億6000万人の人口数を有し、ジャワ島にある首都ジャカルタにはそのうち1000万人以上が集中しています。

人口が年々増加するのに伴い、ジャカルタ市内の交通渋滞による経済損失は、2013年に56兆ルピア(約4400億円)にまで達したと言われています。翌2014年に就任したジョコ・ウィド大統領は、2019年までの国家注記開発計画において、物流コストの低下を目指し、道路や鉄道、港湾などのインフラを開発する計画を発表しました。ジャカルタの渋滞緩和につなげる対策の一部を紹介いたします。



(出典：AGE FOTOSTOCK/アフロ)

2. インドネシア初の地下鉄開業

2019年3月、インドネシア初となる地下鉄、ジャカルタ高速鉄道の南北線(JMRT)が開業しました。

ジャカルタ市内ではこれまで大量輸送機関を有しておらず、人々の通勤、生活の足は自家用車やバス、タクシーに限られていました。

JMRTは日本のODA(政府開発援助)からの1250億円の資金援助により建設され、その輸送距離は13駅、全長15.7キロとまだまだ短いものの、運行システムにも日本の技術を取り入れ、これまでラッシュアワーの時間帯に車で2時間を要していた距離を30分で移動できることとなり、大幅な渋滞緩和とそれによる大きな経済効果が見込まれています。

3. 第2チカンペック高速道路の開業

ジャカルタから東へ約80キロ進むと、日系メーカーの工場が集まるチカンペック工業団地があります。現在ジャカルタとこのチカンペック地域を結ぶ高架式の第二高速道の整備が進められており、2年を経た2019年9月末に工事が完了する見込みです。

この高速道路は、インドネシアの重要な貿易港であるタンジュンプリオク港やスカルノハッタ国際空港ともつながっており、既存の高速道と新たな高速道を使い分けることにより、慢性的な渋滞が緩和されることに期待が寄せられています。インドネシア政府は、この第2チカンペック高速道を含む9区間、総距離406.14キロの高速道路が年内に開通する見通しを発表しており、一般消費財や工業製品の物流改善に寄与する見込みですが、一方でこれらの道路建設に伴い一時的に交通渋滞が悪化しており、利用者からは早期の工事完了が求められています。

4. ナンバー規制拡大

ジャカルタの一部主要道路では、2016 年以降、車のナンバー末尾の数字が偶数か奇数かによって通行できる車両を一日おきに規制する制度を導入しています。

ジャカルタ特別州運輸局によれば、2018 年にも規制対象区間を拡大した影響もあり、通行車両の走行平均速度が毎時 25.6 キロから 28 キロと、以前に比べて 9%改善したとの調査結果が明らかとなりました。

富裕層の間では偶数、奇数の双方のナンバーを保有するなど、規制をかいくぐる例もあるようですが、ナンバー規制が渋滞解消に一定程度の効果をもたらしたと発表されています。

5. まとめ

ジャカルタは世界で最もひどい交通渋滞の都市として知られており、インドネシア当局はこれを解消すべく様々な施策を進めていますが、その効果は年々拡大する人口増とそれに伴う物流量の増加によって限定的となり、交通渋滞の抜本的な解消にはいまだ時間を必要とする見込です。

なお直近になり、ジョコ大統領は、インドネシアの首都をジャカルタからボルネオ島東部の東カリマンタン州に移転する方針を発表しました。移転の理由としてはインドネシアの西部・東部間の経済格差の縮小やジャカルタの地盤沈下が挙げられていますが、現在の首都ジャカルタの交通渋滞による経済損失を解消する目的もあり、2024 年までに首都移転開始を目指すとされています。

世界の国々の中でも GDP 成長率が安定して推移しているインドネシアにとって、物流の改善は国の成長に欠かせない重要な課題となっており、首都機能移転も含めた国の施策とその効果を注意深く見守っていく必要があります。

6. 弊社にてご契約の貨物に損害があった場合のお問い合わせ先

P.T. ASURANSI TOKIO MARINE INDONESIA

Sentral Senayan I , 3Rd & 4Th Floor, Jl. Asia Afrika No.8, Jakarta 10270, INDONESIA

TEL: (62)21-572-5772

FAX: (62)21-572-4010

代表アドレス: customervoice@tokiomarine.co.id



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html